



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ドリコム

コード番号 3793 URL <http://www.drecom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内藤 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経本部長

(氏名) 後藤 英紀

TEL 03-6682-5700

四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,330	△14.1	△290	—	△299	—	△217	—
27年3月期第2四半期	3,877	—	284	—	274	—	185	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △240百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 185百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△15.95	—
27年3月期第2四半期	13.66	13.59

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	3,948	1,999	42.9	124.12
27年3月期	4,679	2,213	40.7	139.55

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 1,695百万円 27年3月期 1,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期第3四半期連結累計期間の連結業績予想(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	5,000	△11.2	△350	—	△350	—	△300	—	△21.97

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	13,891,000 株	27年3月期	13,883,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	233,200 株	27年3月期	233,200 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	13,655,117 株	27年3月期2Q	13,574,917 株
----------	--------------	----------	--------------

みずほ信託銀行株式会社(以下「ESOP信託口」という。)が所有する当社株式233,200株(議決権の数2,332個)につきましては、上記期末自己株式数に含めております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社が属するインターネットビジネス業界は、引き続き著しいスピードで変化を遂げております。平成27年版情報通信白書にあるように、平成26年末のインターネットの人口普及率は8割に及んでおります。そのうちスマートフォンを使用してインターネットを利用する人の割合が全体の47.1%を占め、スマートフォンはパソコンと並ぶインターネットデバイスとなっております。その急速な普及スピードと機材の性能向上とが相俟って、ソーシャルメディアを中心としたスマートフォン向け新サービスが次々と創出され、市場の拡大と、それにとまなう競争の激化が続いています。

こうした環境の下、当社グループは、スマートフォン向けサービスを軸に、既存サービスの拡充および新規サービスの開発に注力しております。主力事業のソーシャルゲーム事業では、他社配信アニメ版權ゲームや、自社オリジナルゲームなどの既存ゲームの運用に注力するとともに、新たな利益創出源とすべく、新規ゲームの開発にも取り組んでまいりました。ソーシャルラーニング事業では、既存サービスの拡大と収益性の向上に注力するとともに、既存サービスで培ったノウハウを活かした新たなサービスをリリースしました。広告メディア事業では、拡大する動画広告需要を取り込むべく、動画リワード広告サービス「poncan」を刷新し「DreeVee」をリリースしました。また、引き続き営業力および開発力の強化に取り組み、スマートフォン向けサービスの需要拡大への対応力の向上に努めました。

業績面では、他社配信アニメ版權ゲームが前事業年度に引き続き安定的に推移し、「フルボッコヒーローズ」も他社コンテンツをゲーム内のキャラクターやモチーフとして用いるコラボレーション・キャンペーンや、TVCMの放映などのプロモーション施策の実施により売上を伸ばしました。「崖っぷちバスターズ」では、ユーザー満足度の向上を目指した初期改修に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,330,629千円(前年同期比14.1%減)となりました。利益面につきましては、営業損失290,522千円(前年同期は営業利益284,434千円)、経常損失299,426千円(前年同期は経常利益274,723千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失217,768千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益185,479千円)となりました。なお、平成28年3月期及び今後の業績動向を勘案し、将来にわたり課税所得の発生が見込まれることから、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討を重ねた結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上いたしました。これにより、法人税等調整額(△は利益)を△71,975千円計上いたしました。

①コンテンツサービス

主力のソーシャルゲーム事業では、他社配信アニメ版權ゲームが引き続きユーザーからの支持を獲得し、業績へ安定的に寄与しました。オリジナルゲームでは、前四半期に引き続き、他社コンテンツをゲーム内のキャラクターやモチーフとして用いるコラボレーション・キャンペーンやTVCMの放映を中心としたプロモーションを展開した「フルボッコヒーローズ」が売上を伸ばしたほか、中核ユーザーに焦点をあてた運用・サポートに注力した「ちょこっとファーム」も、売上水準を維持しました。「崖っぷちバスターズ」では、ユーザー満足度の向上を目指した初期改修に引き続き取り組みました。なお、前述の他社配信のアニメ版權ゲーム2本の売上は、配信会社から一定比率の売上分配を得るかたちとなっているため、売上への影響は相対的に小さいものの、支払手数料が無く、利益に与える影響が大きくなります。

ソーシャルラーニング事業では、前事業年度にスタートした楽天との合弁事業の新体制の下、既存サービスの英語学習アプリ「えいぼんたん」の運用に注力するとともに、「えいぼんたん」で培ったノウハウを活かした新商材「きこえ〜ご」をリリースし、引き続き事業拡張および採算性向上に取り組みました。

以上の結果、セグメント売上高は2,977,223千円(前年同期比14.0%減)、セグメント損失9,197千円(前年同期はセグメント利益468,804千円)となりました。

②広告メディアサービス

広告メディアサービスでは、拡大を続ける動画広告の需要を取り込むべく、主力サービスの動画リワード広告「poncan」を刷新し、「DreeVee」をリリースしました。「DreeVee」では、動画掲載方法の多様化により「poncan」と比較してより多くの業種へサービスの提供が可能となったことから、新たな業種の顧客開拓に注力しました。また、ミュージックプレイヤーアプリ「DropMusic」の運用のほか、無料音楽プレイヤーアプリ以外の領域でのサービス開発にも取り組みました。しかしながら、両事業ともに引き続き事業開発段階にあることから、セグメント売上高は479,612千円(前年同期比12.0%増)、セグメント損失は252,552千円(前年同期はセグメント損失173,710千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,823,070千円となり、前連結会計年度末に比べ663,207千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が792,380千円減少したことによるものであります。固定資産は1,125,633千円となり、前連結会計年度末に比べ67,947千円減少いたしました。これは主にソフトウェアが152,432千円増加したものの、ソフトウェア仮勘定が229,613千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は3,948,703千円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,478,525千円となり、前連結会計年度末に比べ387,853千円減少いたしました。これは主に未払消費税が161,049千円、1年内償還予定の社債が125,000千円、1年内返済予定の長期借入金が45,836千円、未払法人税等が36,588千円減少したことによるものであります。固定負債は470,768千円となり、前連結会計年度末に比べ128,898千円減少いたしました。これは主に社債が75,000千円、長期借入金が54,162千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、1,949,293千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,999,409千円となり、前連結会計年度末に比べ214,402千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失217,768千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.9%（前連結会計年度末は40.7%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後につきましては、引き続きスマートフォンの普及が拡大し、スマートフォン向けコンテンツ市場における競争の激化が予想されます。そうした環境下、当社グループは市場の急速な変化に対応し、多様化するユーザーニーズを捉えたアプリおよびサービスの開発に努めるとともに、既存サービスの運用、新規事業開発の両面において、事業部間での連携を促進し、各事業部の有する強みを融合させることでシナジーを高め、事業の拡大に引き続き注力してまいります。以上のことから、第3四半期連結累計期間の業績見通しは、売上高5,000百万円、営業損失350百万円、経常損失350百万円、親会社株主に帰属する当期純損失300百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,275,812	1,483,431
売掛金	1,059,370	1,103,051
繰延税金資産	60,638	132,398
その他	90,457	104,188
流動資産合計	3,486,278	2,823,070
固定資産		
有形固定資産		
建物	168,802	168,802
減価償却累計額	△72,824	△81,922
建物(純額)	95,978	86,880
工具、器具及び備品	54,597	55,844
減価償却累計額	△48,404	△49,847
工具、器具及び備品(純額)	6,192	5,996
有形固定資産合計	102,170	92,877
無形固定資産		
ソフトウェア	272,276	424,709
ソフトウェア仮勘定	360,195	130,581
その他	519	424
無形固定資産合計	632,991	555,715
投資その他の資産		
投資有価証券	60,267	68,267
繰延税金資産	218,755	218,970
その他	179,396	189,802
投資その他の資産合計	458,418	477,040
固定資産合計	1,193,581	1,125,633
資産合計	4,679,859	3,948,703

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,450	228,759
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	516,664	470,828
1年内償還予定の社債	275,000	150,000
未払金	410,495	413,113
未払法人税等	60,338	23,750
賞与引当金	22,584	19,718
その他	221,846	72,355
流動負債合計	1,866,379	1,478,525
固定負債		
社債	150,000	75,000
長期借入金	349,804	295,642
資産除去債務	41,067	41,330
その他	58,795	58,795
固定負債合計	599,667	470,768
負債合計	2,466,046	1,949,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,185,548	1,189,617
資本剰余金	1,426,528	1,430,597
利益剰余金	△557,262	△775,031
自己株式	△149,968	△149,968
株主資本合計	1,904,845	1,695,215
新株予約権	77,324	95,255
非支配株主持分	231,642	208,938
純資産合計	2,213,812	1,999,409
負債純資産合計	4,679,859	3,948,703

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,877,476	3,330,629
売上原価	2,574,483	2,520,218
売上総利益	1,302,992	810,410
販売費及び一般管理費	1,018,558	1,100,933
営業利益又は営業損失(△)	284,434	△290,522
営業外収益		
受取利息	139	221
受取分配金	—	932
還付加算金	793	—
その他	501	177
営業外収益合計	1,433	1,331
営業外費用		
支払利息	5,803	7,886
社債利息	2,780	1,973
為替差損	2,561	190
その他	—	185
営業外費用合計	11,145	10,235
経常利益又は経常損失(△)	274,723	△299,426
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	274,723	△299,426
法人税、住民税及び事業税	1,382	13,021
法人税等調整額	87,861	△71,975
法人税等合計	89,243	△58,953
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185,479	△240,472
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△22,704
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	185,479	△217,768

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	185,479	△240,472
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	185,479	△240,472
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	185,479	△217,768
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△22,704

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	274,723	△299,426
減価償却費	246,274	309,370
株式報酬費用	30,538	20,922
受取利息及び受取分配金	△139	△1,154
支払利息	5,803	7,886
社債利息	2,780	1,973
売上債権の増減額(△は増加)	△169,074	△45,809
未収消費税等の増減額(△は増加)	65,618	△1,437
仕入債務の増減額(△は減少)	△42,316	△30,691
未払金の増減額(△は減少)	△178,186	△18,871
未払消費税等の増減額(△は減少)	93,068	△159,378
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,819	△2,865
その他	65,133	15,272
小計	402,044	△204,210
利息及び分配金の受取額	139	1,154
利息の支払額	△10,551	△9,102
法人税等の支払額	△4,283	△47,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	387,348	△259,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△21,146	△1,246
無形固定資産の取得による支出	△223,666	△218,637
出資金の回収による収入	1,561	—
出資金の払込による支出	△12,500	—
その他	△8,442	△17,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△264,193	△237,839
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	700,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△206,728	△299,998
社債の償還による支出	△125,000	△200,000
株式の発行による収入	23,740	5,148
財務活動によるキャッシュ・フロー	392,012	△294,850
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	515,167	△792,380
現金及び現金同等物の期首残高	1,338,180	2,275,812
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	35,382	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,888,730	1,483,431

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ サービス	広告メディア サービス	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上 高	3,461,993	415,482	3,877,476	—	3,877,476
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	12,886	12,886	△12,886	—
計	3,461,993	428,368	3,890,362	△12,886	3,877,476
セグメント利益又は損 失(△)	468,804	△173,710	295,093	△10,659	284,434

- (注) 1. セグメント利益の調整額△10,659千円はセグメント間の内部取引によるものであります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	コンテンツ サービス	広告メディア サービス	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上 高	2,977,223	353,405	3,330,629	—	3,330,629
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	126,207	126,207	△126,207	—
計	2,977,223	479,612	3,456,836	△126,207	3,330,629
セグメント損失(△)	△9,197	△252,552	△261,750	△28,772	△290,522

- (注) 1. セグメント利益の調整額△28,772千円はセグメント間の内部取引によるものであります。
2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。